

「自分の命は自分で守る」

おはようございます。45日間の長かった夏休みも終わり、今日から2学期が始まりました。みなさんの夏休みはどうでしたか。1学期の終わりに話したように自分にしか咲かせられない花を咲かせることが出来ましたか。それぞれの成果を活かして2学期も頑張っていきましょう。

さて、今日は新学期のスタートですが、少し重い話をしようと思います。今日の話のタイトルは「自分の命は自分で守る」です。みなさんもテレビのニュース等で知っていると思いますが、この夏休みに大阪の寝屋川市に住むみなさんと同年代の中学生2名が遺体で発見されるという痛ましい事件が発生しました。今日みなさんの保護者あてにこの事件についての文書を配布しますから必ずおうちの人に渡してください。

事件が発生して容疑者が見つかり、いろいろな人がいろいろな意見を言っています。いくら後から言っても失われた二人の命が返ってくるわけではありません。でもこのような事件を二度と繰り返さないために考えなければなりません。私がみなさんに言いたいことはただ一つ、「自分の命を自分で守れる人になってください」ということです。命の危険はどこにでもあり紙一重のこともたくさんあります。そこにはいくつかの分かれ道があります。今回の事件を例

にとれば、いくつかのキーポイントが見えてきます。

まずは、二人が、家を出て深夜にふらついていたことです。みなさんは家の人に内緒であるいは嘘をついて夜中に外で友達と会ったりしていませんか。塾などの帰りに友達と遅くまで話したりしていませんか。いやなことがあったりして家に帰りたくなかったり、友達に付き合っくと頼まれて親切心から出かけたりにすることはありますか。自分の命を守る一つ目のキーポイントです。それは、「ちょっと考えて思いとどまる。」ということです。楽しいから、友達と一緒にだから、家や学校がつまらないからどんな理由があっても深夜に出歩く危険性を考えて、やめておこうと決心できるかです。

二つ目です。なくなった中学生はラインで友達と深夜までやり取りをしていました。泊めてと言われて断った同級生は当たり前の対応をしたと思いますがでもあの時点で泊めてあげればとか誰かに相談していればときっと悔やんでも悔やみきれない思いでいると思います。ラインの危険性についてはこれまで何度も話を聞いていると思いますが、君たちにとっては今やなくてはならないものなのだと思います。だからラインをするなどは言いません。ただ友達の変化についてあれ、変だなと思うことがあれば早めに周りの人に相談してください。別の友達でもおうちの人でも先生でもかまいません。そして本当に大事な事は直接会って面と向かって話をする 것도大切です。

最後です。この夏休みにも何回か一中生も不審者と思われる事案に会った人

がいます。でもそれぞれの的確に行動したので大きな被害にあわずに済みました。

万が一怪しい人に声をかけられたら・・・あるいはその人は見るからに怪しい人ではないかもしれません。最初は優しそうで親切に見えるかもしれません。

まずは、距離を取ることです。相手が手を伸ばしたり1，2歩でそばに来るような距離を避けて近づかないこと。危ないと思ったらすぐに逃げられるような距離をとってください。もし相手が車に乗っていたらその車の進行方向とは逆に逃げることにし、そしてすぐに近くの人に助けを求めます。もう一つ大事な事はその場で通報してもらうことです。家に帰ってから話すでは遅い、犯人はもう逃げてしまいます。いざという時の対処の仕方良く覚えていてください。

いずれにしても、小学生や中学生と言った若い人の命が奪われる事件はもう繰り返されてはいけません。みなさんも他人事と考えずに「自分の命を自分で守ること」についてぜひ一度考えて下さい。おわります。